

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人

報恩積善会

令和1年度 事業報告書

1. 事業成績関係

社会福祉法人 報恩積善会

(1) 入退所状況

(令和2年3月31日現在)

区分	男性	女性	計	備考
前年度繰員	22	48	70	
令和1年度入所	4	6	10	
計	26	54	80	本年度取扱人員
令和1年度退所	0	2	2	
令和1年度死亡	4	5	9	
計	4	7	11	本年度取扱減人員
令和1年度末現在	22	47	69	次年度繰人員
令和1年度入所取扱人員		80名		
令和1年度入所延人員		23,007名		

(2) 創立以来の入退所状況

区分	入所人員	退所人員	死亡人員	現在人員
男性	596	241	326	22
女性	696	233	408	47
計	1,292	474	734	69
創立以来入所実人員		1,292名		
創立以来入所延人員		1,849,594名		

(3) 実施機関調べ

委託機関	男性	女性	計
岡山市	11	41	51
総社市	2	1	3
倉敷市	2	1	3
瀬戸内市	1	0	1
新見市	1	2	3
真庭市	0	0	0
美作市	1	0	1
津山市	1	0	1
和気町	1	0	1
美咲町	2	2	4
計	22	47	69

(4) 利用者の前住所状況

前住所区分	男性	女性	計	割合
居宅から入所	5	17	22	31.9%
病院から入所	12	18	30	43.5%
他施設から入所	5	12	17	24.6%
その他	0	0	0	
計	22	47	69	100%

(5) 年齢構成

	64才 以下	65才 ～69才	70才 ～74才	75才 ～79才	80才 ～84才	85才 ～89才	90才 ～94才	95才 ～99才	100才 以上	計
男	0	1	8	4	6	3	0	0	0	22
女	0	1	5	9	8	15	7	2	0	47
計	0	2	13	13	14	18	7	2	0	69
最高年齢	男性 86才 女性 97才									
平均年齢	男性 77.1才 女性 83.2才 男女平均 81.3才									

(6) 年金受給状況

	国民 年金	厚生 年金	老齢福 祉年金	遺族 年金	障害者 年金	恩給	共済	労災	厚生年 金基金	無	計
男	3	14	0	0	7	0	2	0	1	1	28
女	15	22	0	1	10	0	0	0	2	2	52
計	18	36	0	1	17	0	2	0	3	3	80

(7) 死亡原因

	癌	老衰	白血病	肺炎	脊髄炎	心不全	その他		計
男	1	1	0	2	0	0	0		4
女	1	2	0	1	0	1	0		5
計	2	3	0	3	0	1	0		9

(8) 月額負担状況

階層	金額	男	女	計
1	0	2	7	9
2	1,000			
3	1,800			
4	3,400			
5	4,700	1		1
6	5,800	1		1
7	7,500			
8	9,100			
9	10,800		1	1
10	12,500		2	2
11	14,100		1	1
12	15,800			
13	17,500			
14	19,100		1	1
15	20,800			
16	22,500		3	3
17	24,100			
18	25,800			
19	27,500	2	3	5
20	30,800		3	3
21	34,100		3	3
22	37,500	1	1	2
23	39,800	2	1	3
24	41,800	1	3	4

階層	金額	男	女	計
25	43,800	2		2
26	45,800		4	4
27	47,800		5	5
28	49,800	2		2
29	51,800		2	2
30	54,400	1	1	2
31	57,100	2	2	4
32	59,800			
33	62,400	2	1	3
34	65,100	1	1	2
35	69,100	1		1
36	73,100			
37	77,100		2	2
38	81,100			
39	下記参照			
	82,300			
	85,100			
	85,800			
	140,600	1		1
	計	22	47	69

39階層（年額収入1,500,001円以上）の人は、 $(150 \text{ 万円超過額} \times 0.9 \div 12 \text{ 月}) + 81,100 \text{ 円}$

※ 備考 上表にかかわらず、140,000円を当該徴収月額とする。

2. 地域福祉関係

(1) 老人短期入所事業

種類	利用者数	延日数	委託機関	利用料（一泊）
ショートステイ	(男) 0名	(男) 0名	岡山市 (定員1名)	生活保 3,760円
	(女) 3名	(女) 13名		その他 2,030円
短期入所自主事業	(男) 2名 (女) 3名	(男) 23日 (女) 7日	自主事業	2,030円
計	8名	43日		

(2) ショートステイ利用状況

年 月	利用者数	延日数
30年4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	1	6
10月	0	0

年 月	利用者数	延日数
11月	0	0
12月	1	5
30年1月	1	2
2月	0	0
3月	0	0
計	3	13

(3) 配食・会食サービス実施状況

種類	実施形態	利用者数
配食サービス	毎週月・水・金曜日の昼食	14名
会食サービス	毎日・毎食可	7名

(4) 施設の貸与

元気の出る会、つしま幼稚園保護者親睦会、地域住民

3. 処遇関係

(1) 主な年間行事実施状況

30年4月	ひな祭り・お花見・お花見ドライブ
5月	
6月	大掃除・地域交流会
7月	夏祭り・蓮見学
8月	七夕祭り・盂蘭盆・納涼の夕べ
9月	敬老の日・創立記念日

10月	運動会・検診・ほうせき☆祭り・笹が瀬秋祭り
11月	積善会まつり
12月	クリスマス会・忘年会・餅つき・すす払い・門松づくり
31年1月	新年会・初釜
2月	節分会
3月	彼岸会・健康診断

施設主催、地域主催の各行事で職員・入所者・地域住民など交流を深めることができた。また各行事には、学生・地域住民のボランティアが多数参加し行事を行うことができた。

(2) 月間行事実施状況

誕生会、売店、喫茶、移動図書、給食会議、町別会議、常会等については計画どおり実施できた。

(3) クラブ活動実施状況

種別	参加者数	回数	種別	参加者数	回数
リハビリ体操	全員	週1	カラオケクラブ	16名	月2
生け花クラブ	12名	週1	詩吟クラブ	7名	月2
俳句クラブ	1名	月1	手芸クラブ	5名	月2
ダンスクラブ	14名	月1	習字クラブ	7名	月1
茶道クラブ	4名	月1	園芸クラブ	2名	週1
押し花クラブ	10名	月1	音楽療法	全員	月1
水彩画クラブ	4名	月1	マイクラフト	2名	週2
輪投げクラブ	16名	月2			

俳句、カラオケ、詩吟、水彩画クラブ、マイクラフトについては地域住民も参加している。クラブ活動の種類を増やし、好みの活動を選んで参加していただけるように取り組んでいる。

施設外活動実施状況

初詣、春・秋の墓参り、桜見物、ハス見物、紅葉狩り、イルミネーション見学等は、ドライブを兼ねて複数回に分けて実施し好評であった。後楽館高校で行われている「らっかんランチ食堂」へ行き、高校生との交流を行った。

(4) 入所者の健康管理

第1回定期検診（10月）、インフルエンザ予防注射（11月）、胸部レントゲン及び血液検査（3月）

4. 実習受け入れ状況

- ①介護等体験 16名 明誠学院高等学校 8名
- ②玉野総合医療専門学校 18名
- ③中学校職場体験 香和中学 2名 京山中 3名
- ④社会福祉協議会職場体験 2名

5. 職員の処遇

(1) 施設外研修

月	出張先	参加者	出張内容
5月	岡山市	事務長	市民のつどい
	〃	施設長	社会福祉法人経営者総会
	〃	施設長補佐・事務長	接遇リーダー研修会
	〃	相談員	施設・地域密着部会定例会
7月	岡山市	栄養士	臨地実習報告
	〃	施設長・事務長	特定処遇改善加算説明会
	〃	栄養士	全国栄養士会
8月	岡山市	栄養士	特定給食施設関係者研修会
	〃	相談員	施設・地域密着部会
	〃	栄養士2名	岡山市ブロック養護栄養部門会議
	〃	施設長・事務長	社会福祉法人経営者セミナー
	山口県	事務長・支援員2名	中国地区老人福祉施設研修大会
9月	岡山市	相談員	岡山市北区生活相談員部会
	〃	栄養士	給食施設従事者研修会
10月	岡山市	事務長	公正採用選考人権啓発推進研修会
11月	広島県	施設長	中国ブロックカンントリーミーティング
	岡山市	施設長・事務長	老施協 養護職員研修会
		看護師・支援員	〃
	高梁市	施設長	養護部会施設長研修会
	岡山市	支援員	認知症介護実践研修
	瀬戸内市	施設長・相談員・支援員	せとうち交流会プログラム
12月	岡山市	施設長・事務長	経営者セミナー
	〃	支援員	認知症介護実践研修
1月	岡山市	施設長	新年互例会
	〃	施設長・事務長	中小企業家同友会新春経営講演会
	〃	看護師・栄養士	〃

1月	〃 岡山市 〃	施設長・事務長 事務長 事務長	福祉人材確保セミナー 北区北福祉区支えあい活動交流会 認知症カフェ情報交換会
2月	岡山市 〃	看護師 施設長 事務長・支援員	介護・福祉関係施設在宅等領域看護職交流会 介護人材定着セミナー 福祉の就職フェア

(2) 施設内研修

実施回数	研修名	対象者
毎日	朝礼と職種別ミーティング カンファレンス	出勤職員全員 担当職員
毎月	職員会議	出勤職員全員
毎月1回	常会	職員と入所者
〃	町別会議	職員と各町の入所者
〃	給食会議	調理職員と各町入所者代表
年1回(3月)	事業計画会議	全職員
年2回(7・11月)	防火避難訓練	職員と入所者
年1回(2月)	災害時避難訓練	〃
	(職員研修)	
4月	養護老人ホームについて	全職員
5月	虐待防止について	〃
6月	感染症について	〃
〃	環境整備と自立支援について	〃
7月	レクリエーションについて	〃
8月	バルンカテーターについて	〃
〃	精神疾患について	〃
9月	理念、方針について	〃
10月	身体拘束について	〃
〃	虐待・身体拘束について	〃
11月	ノロウイルスについて	〃
1月	チーム・組織・ルールについて	〃

(3) 職員健康管理

全職員に年1回定期健康診断を実施し、夜間勤務のある職員は年2回行った。また、調理員には、毎月1回の検便とノロウイルス対策の検便を実施した。11月にはインフルエンザワクチンを接種した。

(4) 広報活動・情報公開

入所者、家族、後援会会員を対象に広報「ほうせき」を年1回発行。また「HOUSEKI NEWS LETTER」を発行し、入所者の取り組みや公益的な取り組みについても広報を行った。併せてホームページを活用し活動の予定や報告、財務諸表の公開など積極的な情報開示を行った。また Facebook のページを作成し、日常の活動や入所者や職員の取り組みについて広報を行った。

利用者の苦情解決のために、第三者委員会を設置しているが、第三者委員を交えての問題解決事項はなかった。日々の悩みや相談があればその都度個別に聞き取り、話をしながら改善を行った。

(5) 福利厚生

職員親睦会助成、独立行政法人福祉医療機構、岡山県民間社会福祉従事者共済制度・育成制度、福利厚生センター、岡山市勤労者サポートプラザへの加入を継続し職員全体の福利厚生の充実を図った。介護福祉士取得を目指す職員に対して勤務調整、自主的な外部研修への参加希望の職員に対して参加費等の助成を行った。

6. 栄養管理

栄養基準量を定め、献立は入所者の希望を取り入れた。また、嗜好調査や日々の残菜調査を実施、味付け、盛り付けを工夫し旬の食材を積極的に取り入れ季節感のある食事を提供した。

食事はカフェテリア方式を基本とし、元気な方には好みに合わせて食事がとれるようにしている。また食事時間は毎食1時間設け、自由な時間で食事ができ、食堂内は装飾して明るく楽しく食事できるように工夫している。

7. 地域における公益的な活動

「ふれあい講座」を2ヶ月毎に開催。毎回15名程の参加があり地域交流の場となっている。毎月第4金曜日は認知症カフェ「ほほえみカフェ」を開催。ボランティアの協力もあり毎回10名程度の参加者にて認知症の啓発と共に入所者も参加することで地域住民との交流の場にもなっている。入所者の社会参加とやりがい作りで始めた「マイクラフト」は、地域の方も4名参加、週2回継続した活動を実施し、製作したクリーンクロス（布巾）を小学校、幼稚園、保育園等へ寄贈した。

ふれあいホール使用について規程を設け、ホームページに公開し利用しやすいよう情報発信を行い、食堂及びふれあいホールの利用は9回あった。また地域団体「元気のできる会」へ食

堂を開放、地域の高齢者と保育園児の交流と共に当会の食事を提供し大変好評であった。

笹が瀬町内秋祭り、つしま幼稚園まつり、あゆみ保育園まつりなどに出店し広報活動と共に地域住民との交流を行うことができた。28回目となる「積善会まつり」には、地域企業・学生や住民ボランティア・津島小学校グリーンコーラスの協力も頂き500名を越える来場者があり、住民同士の交流を図ることができた。

10月より津島生活学校（津島学区のボランティア団体）と協働し、毎月京山公民館で実施しているフードドライブで集まった物品を受け取り、近隣のこども食堂へ提供する中間支援の取り組みを開始。他団体との連携を図ると共に新しいつながりを作りながら助けを必要としている地域の方への支援につなげることができた。

町内の各種団体と協働して「笹が瀬地区ささえあい推進委員会」を立ち上げ、防災訓練を実施し地域の防災活動へも参加することができた。

地域住民の方と協働して子ども食堂「つしまみんな食堂」を運営し、4回の開催を行った。栄養士が献立検討や栄養計算を行い食育につながる活動、また調理職員の参加による衛生管理など専門職が参加することで安心して地域の方へ参加していただくことができている。その他ふれあいホール会場提供、ボランティアの周知と獲得、チラシの配布など地域資源として活用できていると共に、地域の方にも法人や施設を知ってもらう大切な機会となっている。